

 Kashimura

# DK-64

ワイヤレス充電ホルダー  
4 角アーム  
ロングアームエアコン

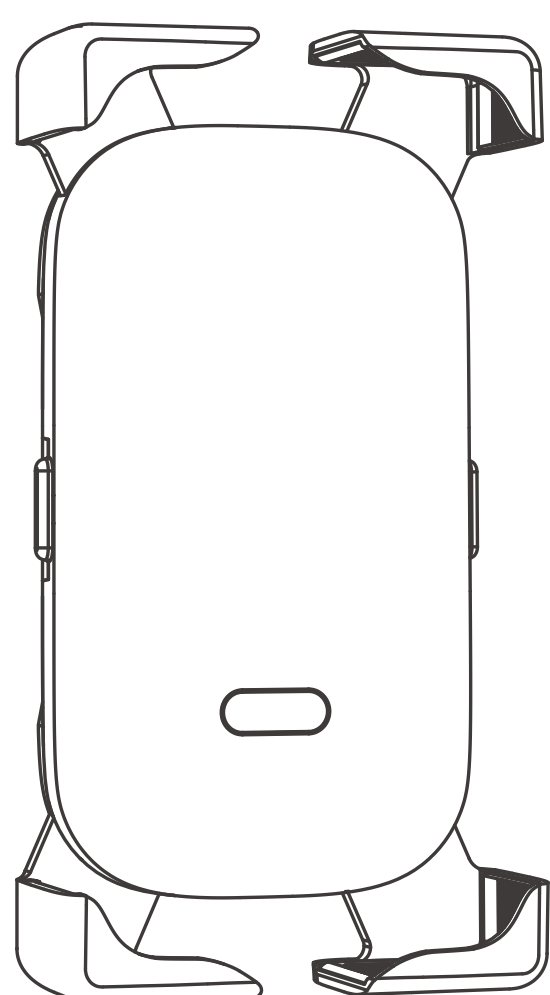


ご使用前に必ず、当取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。

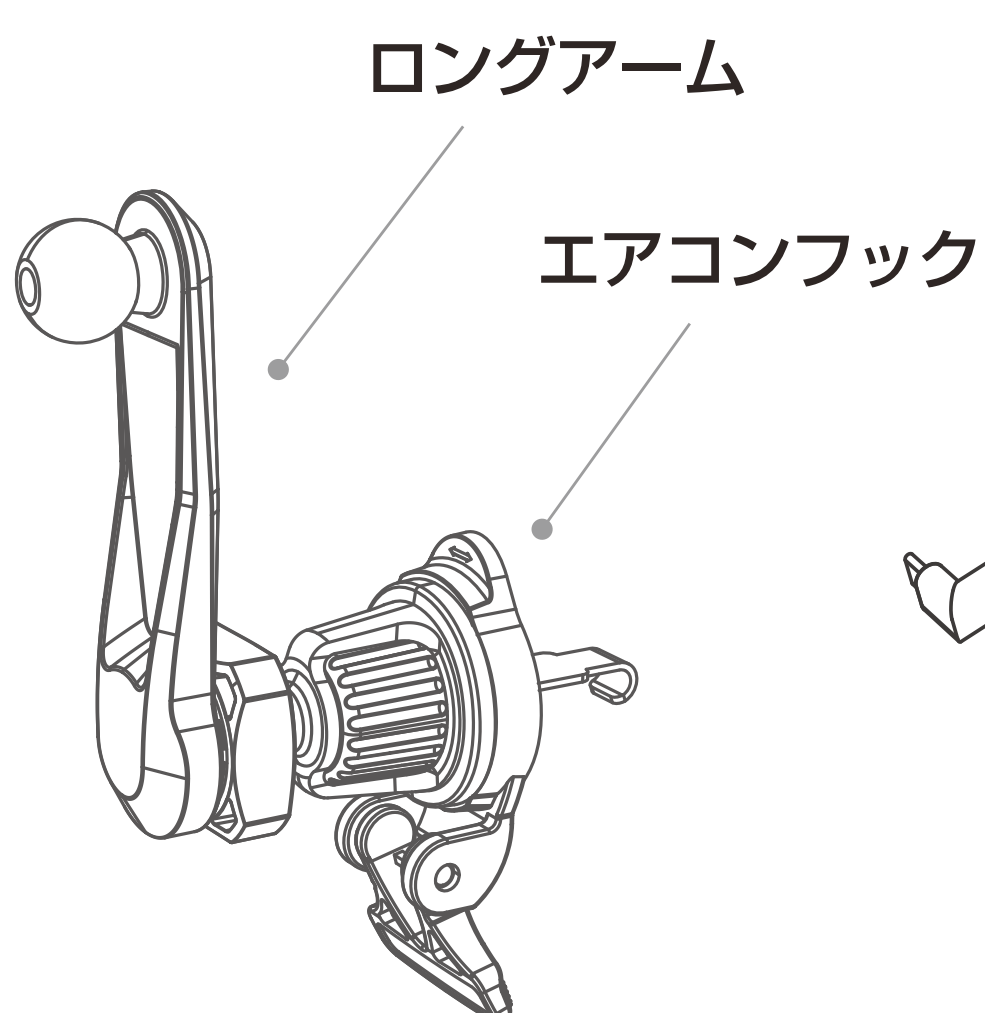
## 取扱説明書

### 同梱内容

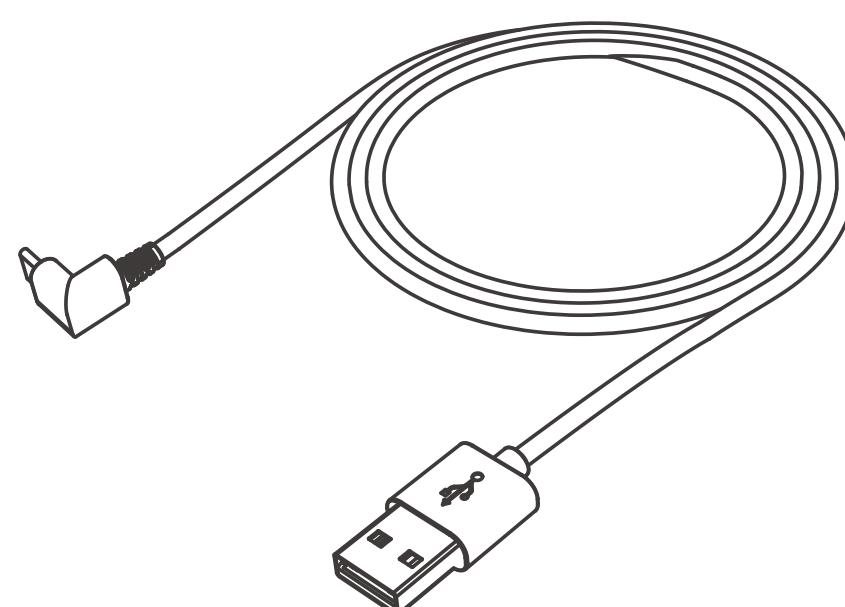
同梱品がすべてそろっていることをご確認ください



本体



エアコン取付けパーツ



USB A-C ケーブル

充電用ケーブル

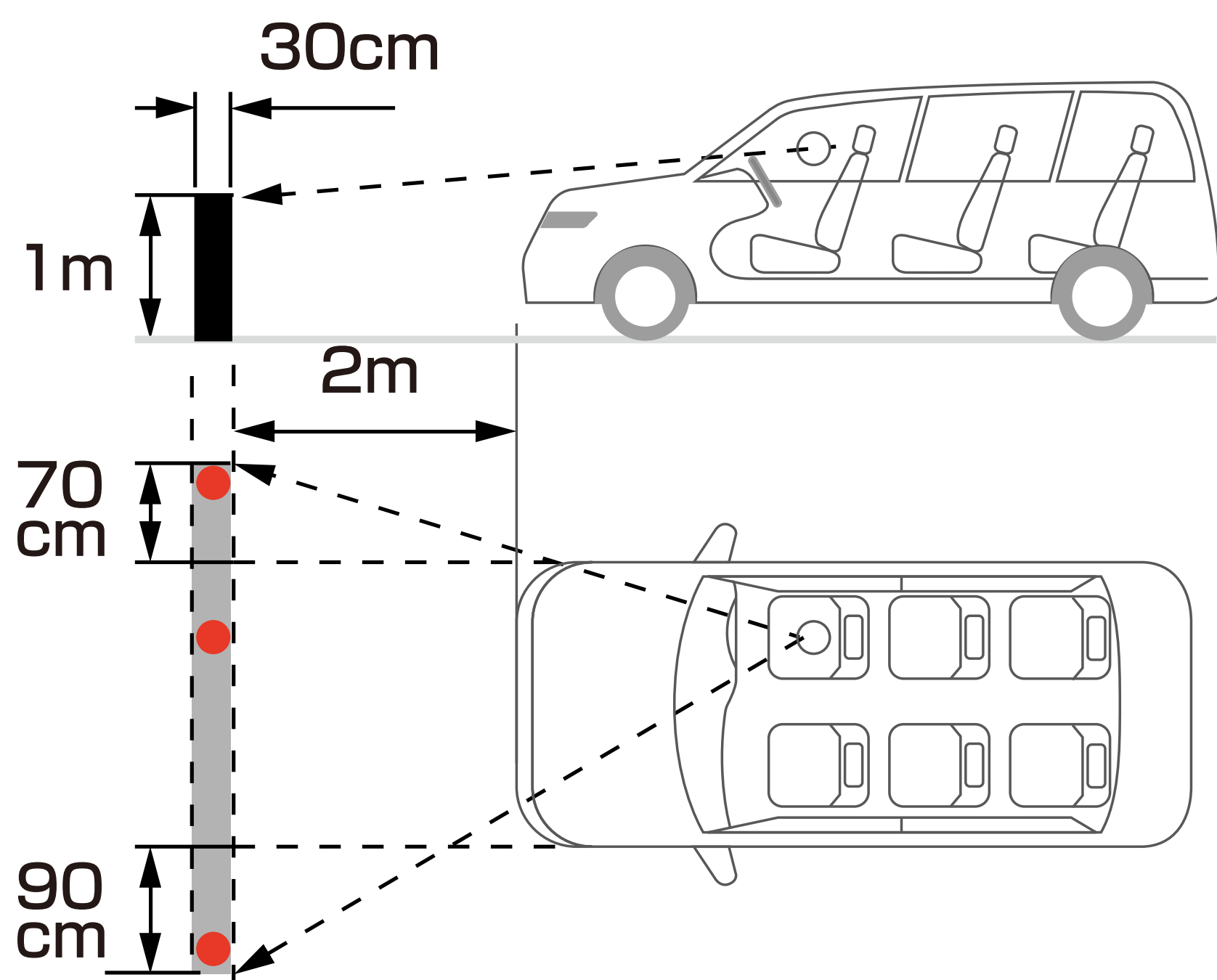
# - 本製品の取付け位置について -

- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、  
下図を参照にし、運転者の視界を妨げないように  
本製品を設置してください

※下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

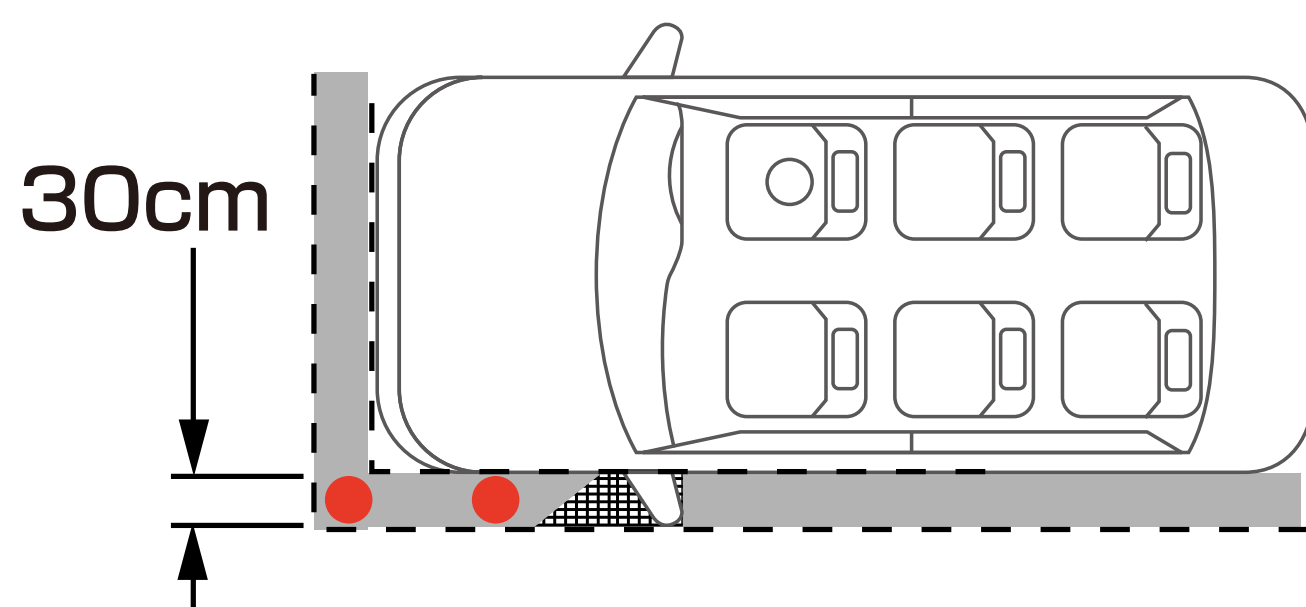
## 前方視界基準

自動車の前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を、  
鏡等用いず直接確認できること



## 直前直左視界基準

自動車の前面及び左側面に（左ハンドル車の場合は右側面に）接する  
高さ1m 直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること

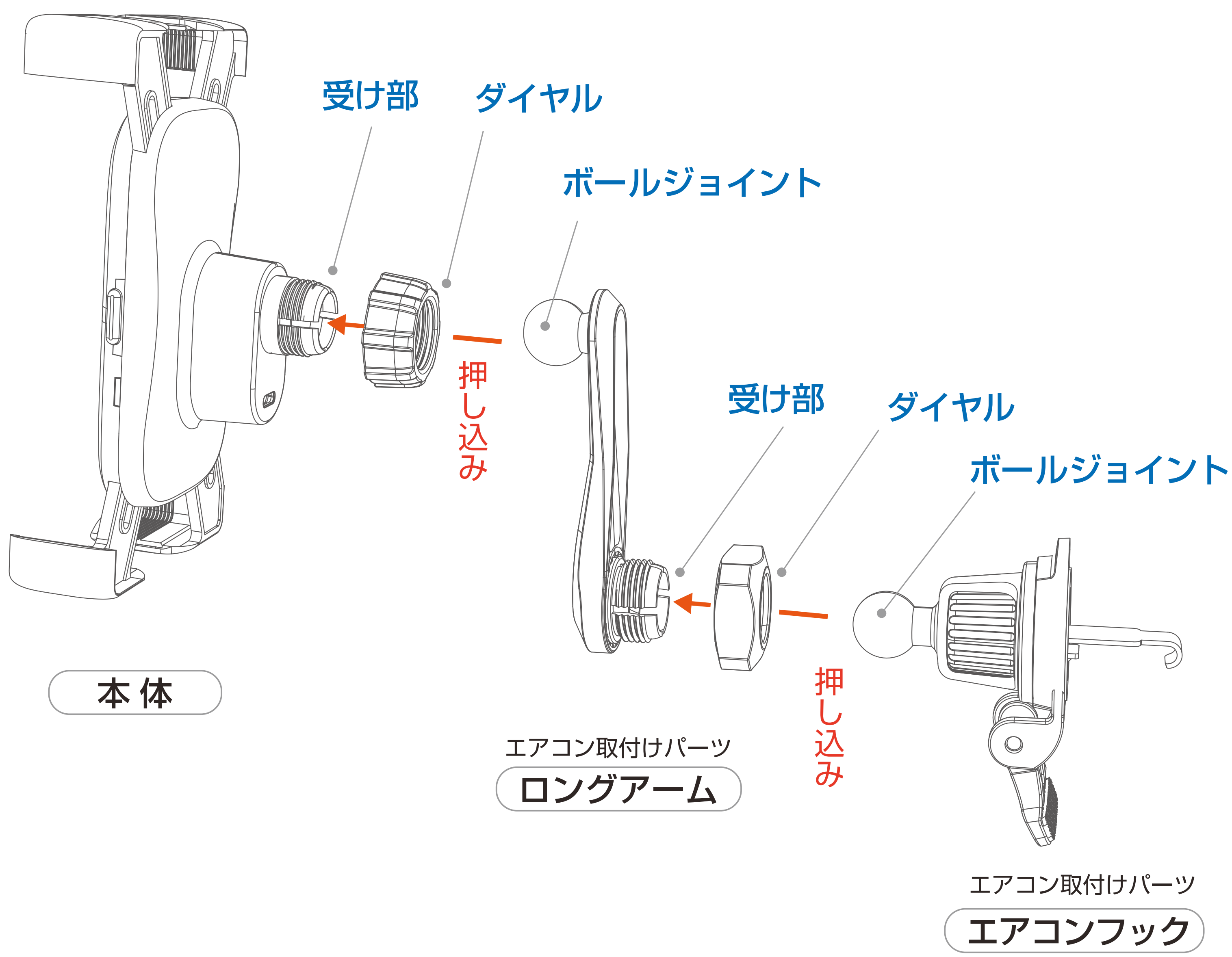


- ：運転視界基準エリア
- ：高さ1m、直径30cmの円柱
- ▨：適応外エリア  
Aピラー及び室内後写鏡により  
視界が遮られるエリア

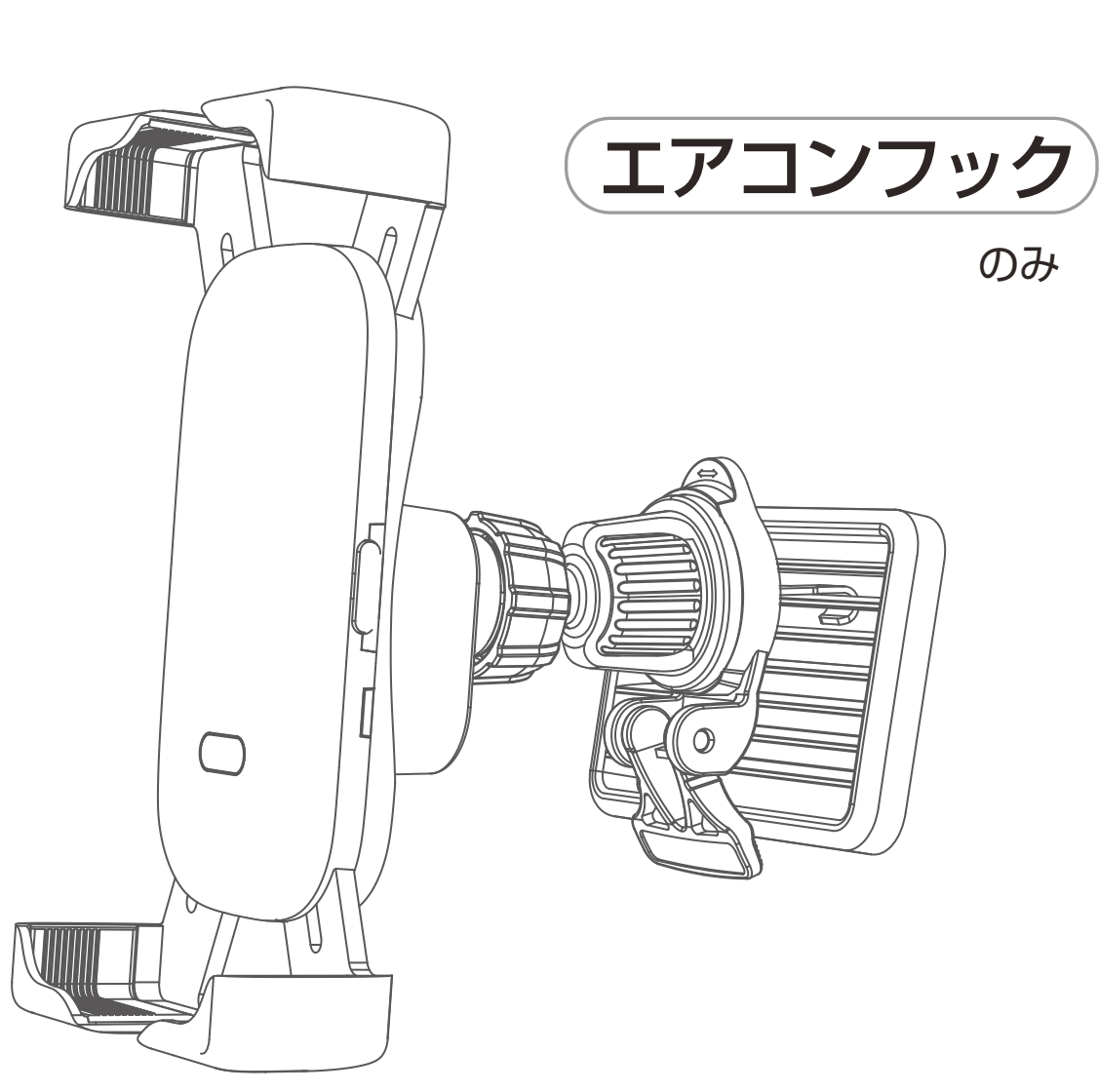
# 本体にエアコン取付けパーツを連結

## 本体とエアコン取付けパーツは連結して使用します

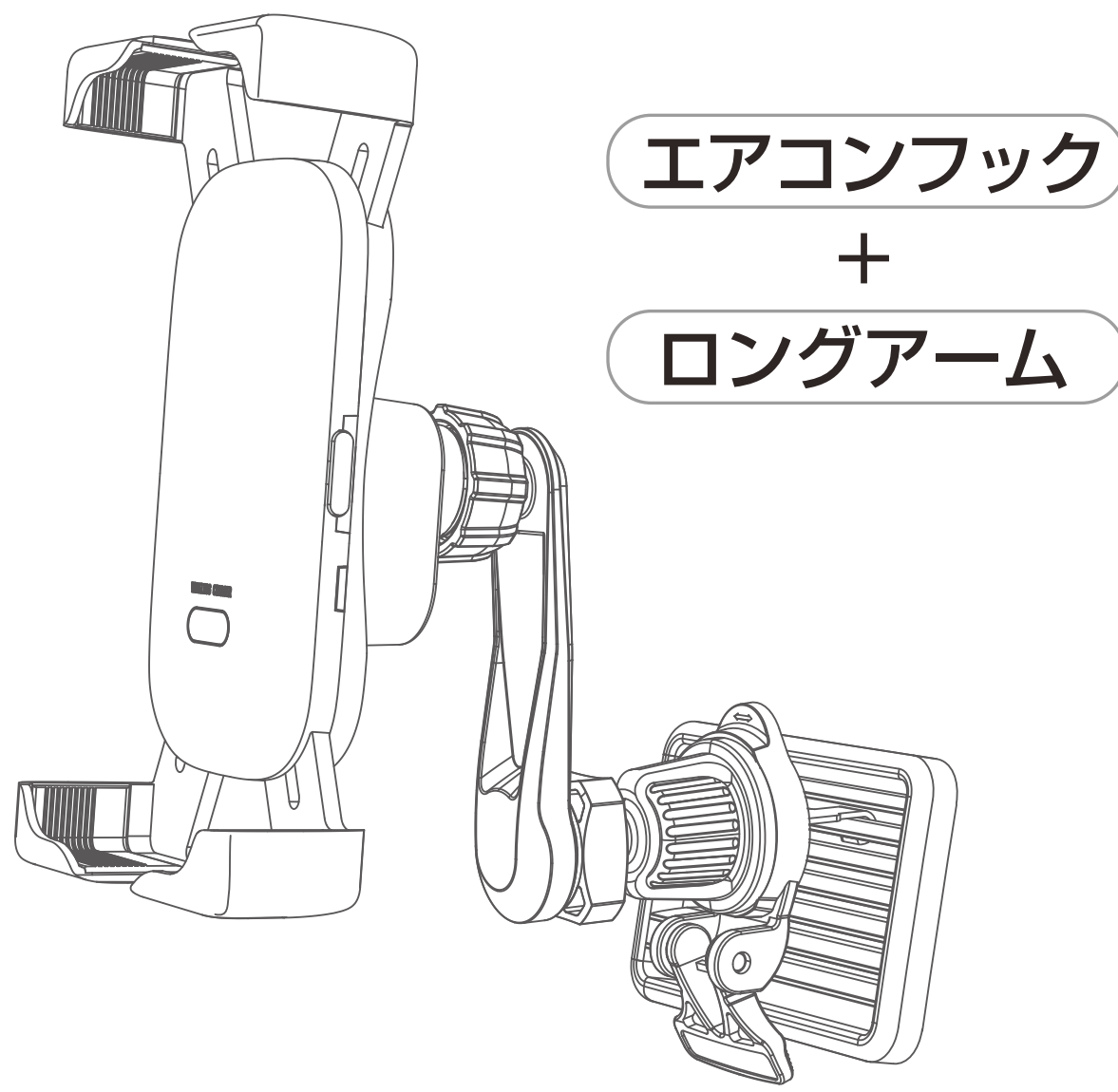
ダイヤルをはずし、ボールジョイントにダイヤルを通してから受け部に押し込み、ダイヤルを締めます。



### 連結例 | エアコンフックパーツのみで使用することも可能です



エアコンフックのみで使用する場合、ホルダーはエアコン正面に設置されます



ロングアームを使用することでホルダー位置を上下左右自在に調整できます

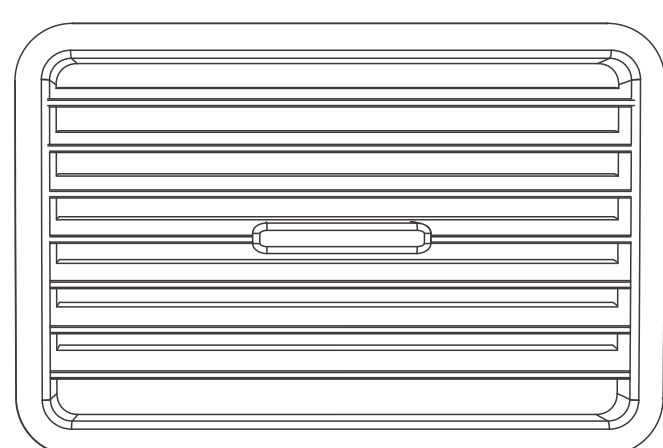


# 車両への取付け手順

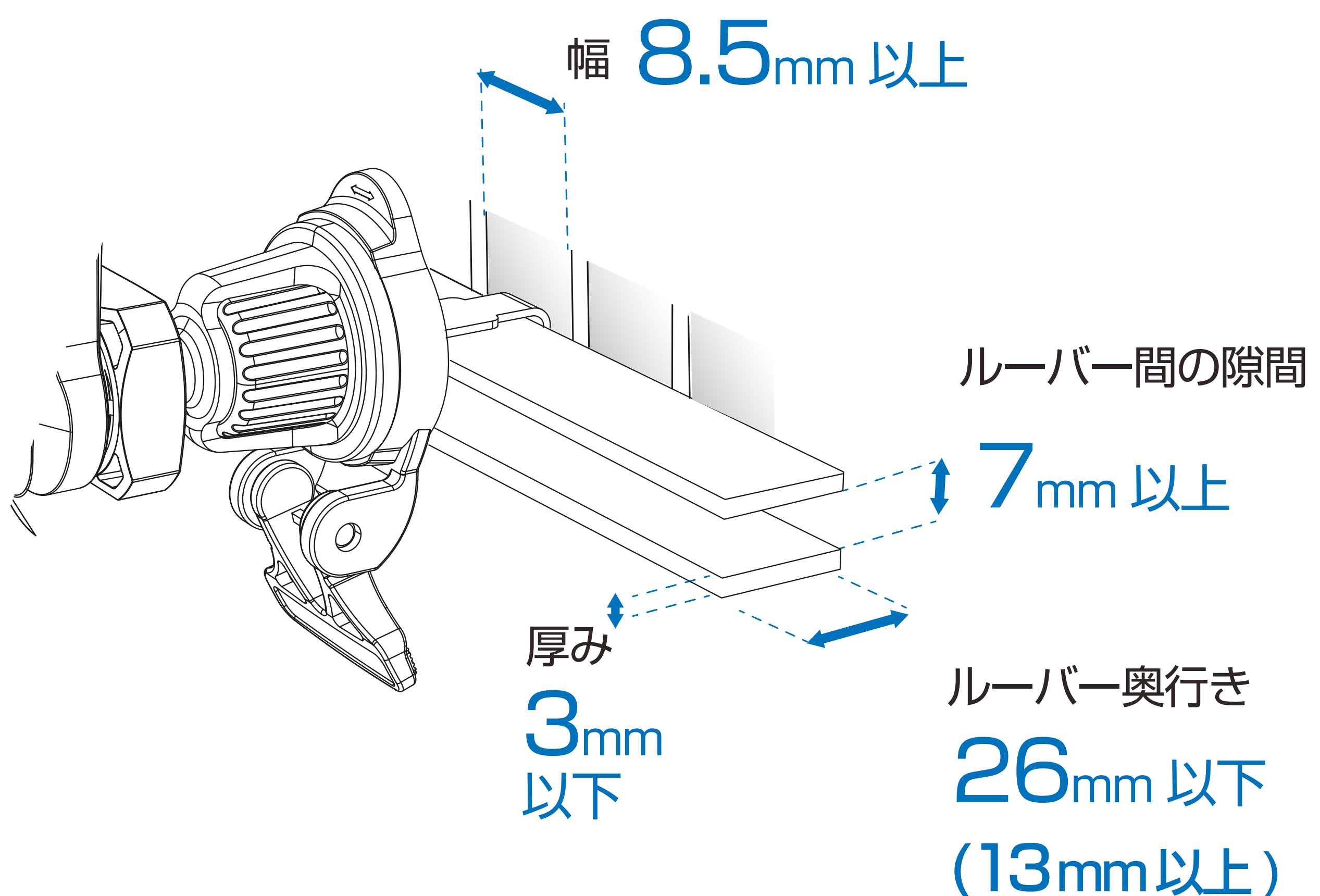
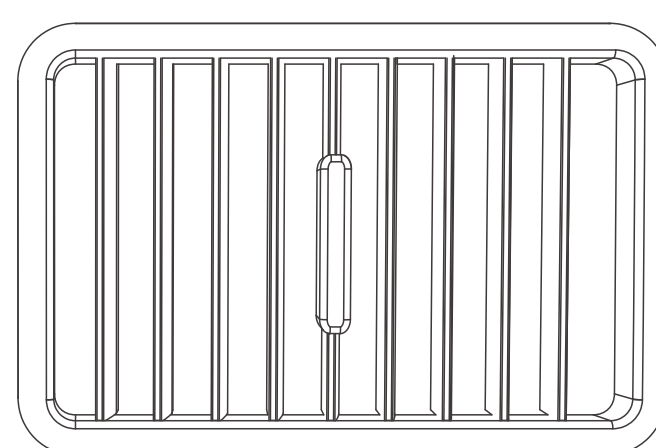
## 取付け可能なエアコン形状

本製品付属のエアコン取付けパーツで設置可能なエアコンは以下

角型 横ルーバー



角型 縦ルーバー



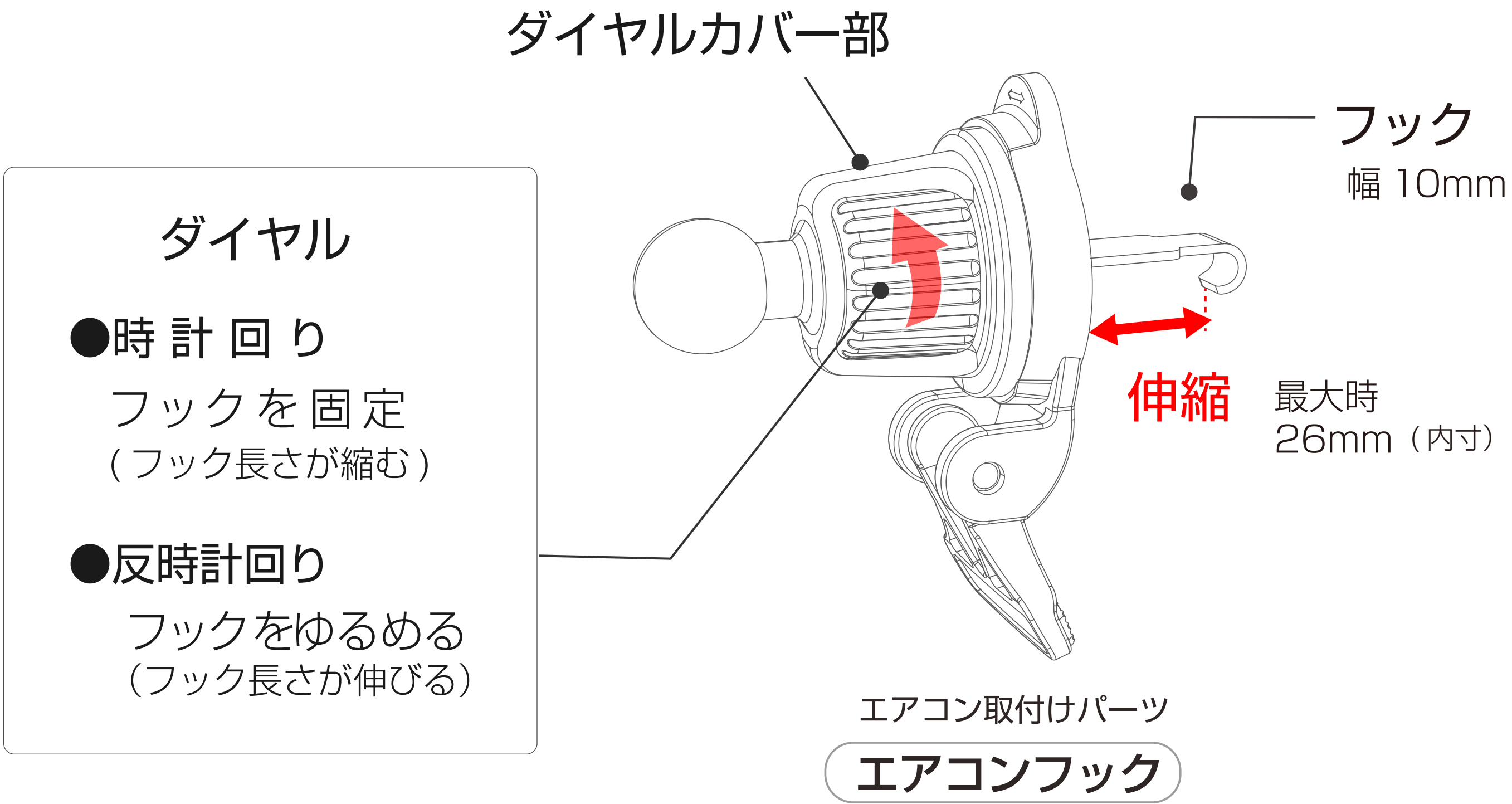
## 以下のエアコンは取付け不可



その他、極端に厚いフィン / フック取付けに十分な平面のないフィン  
左右に回転するフィン / フィンどうしの隙間がないエアコンも不可

# ① 設置するエアコンに合わせて取付けパーツを調整

- ① エアコンフックのダイヤルを回すとフックが伸縮します。ダイヤルを反時計回りに回してフックを緩め、設置するエアコンのルーバーに掛かる長さまで伸ばします。

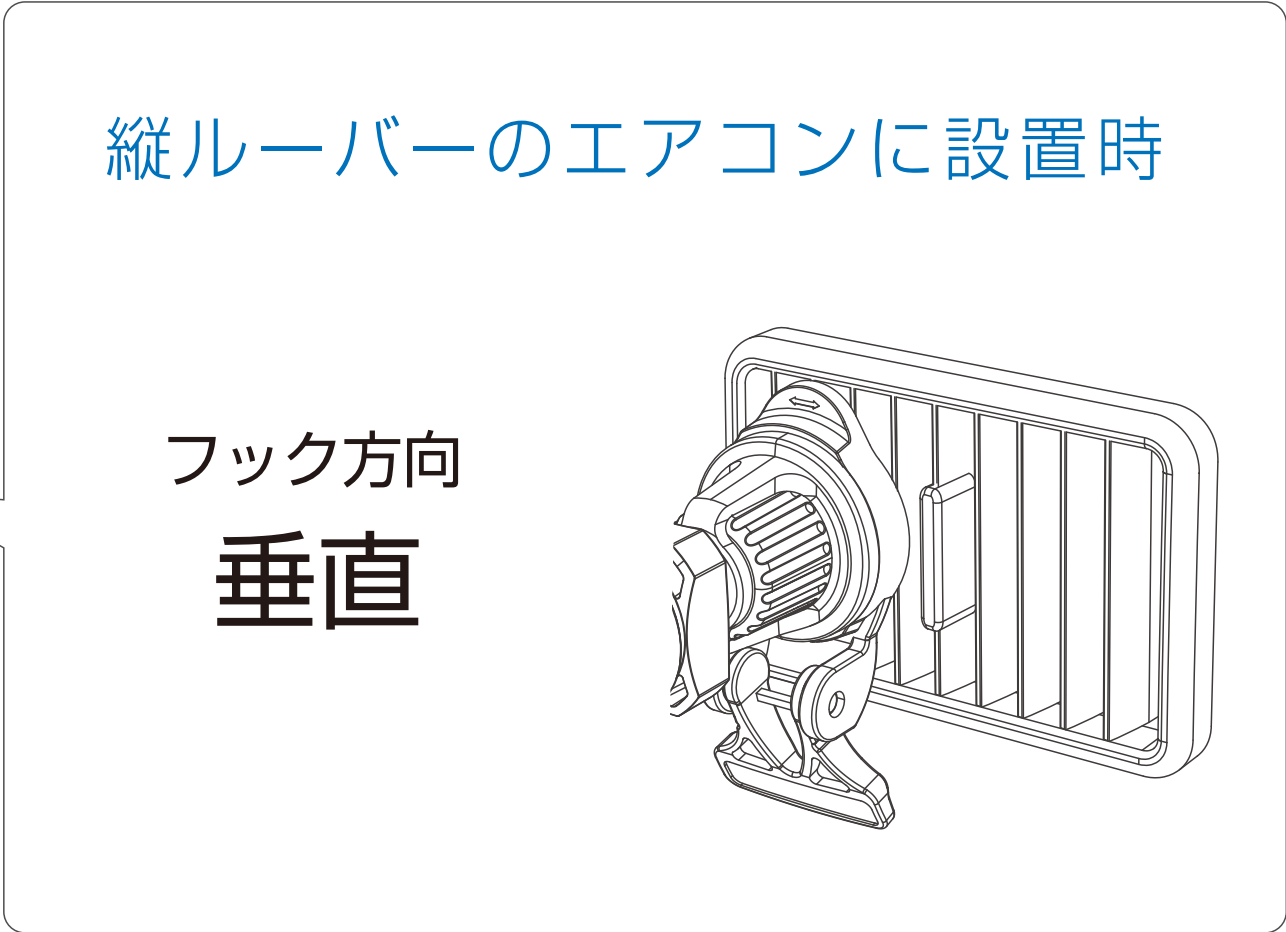
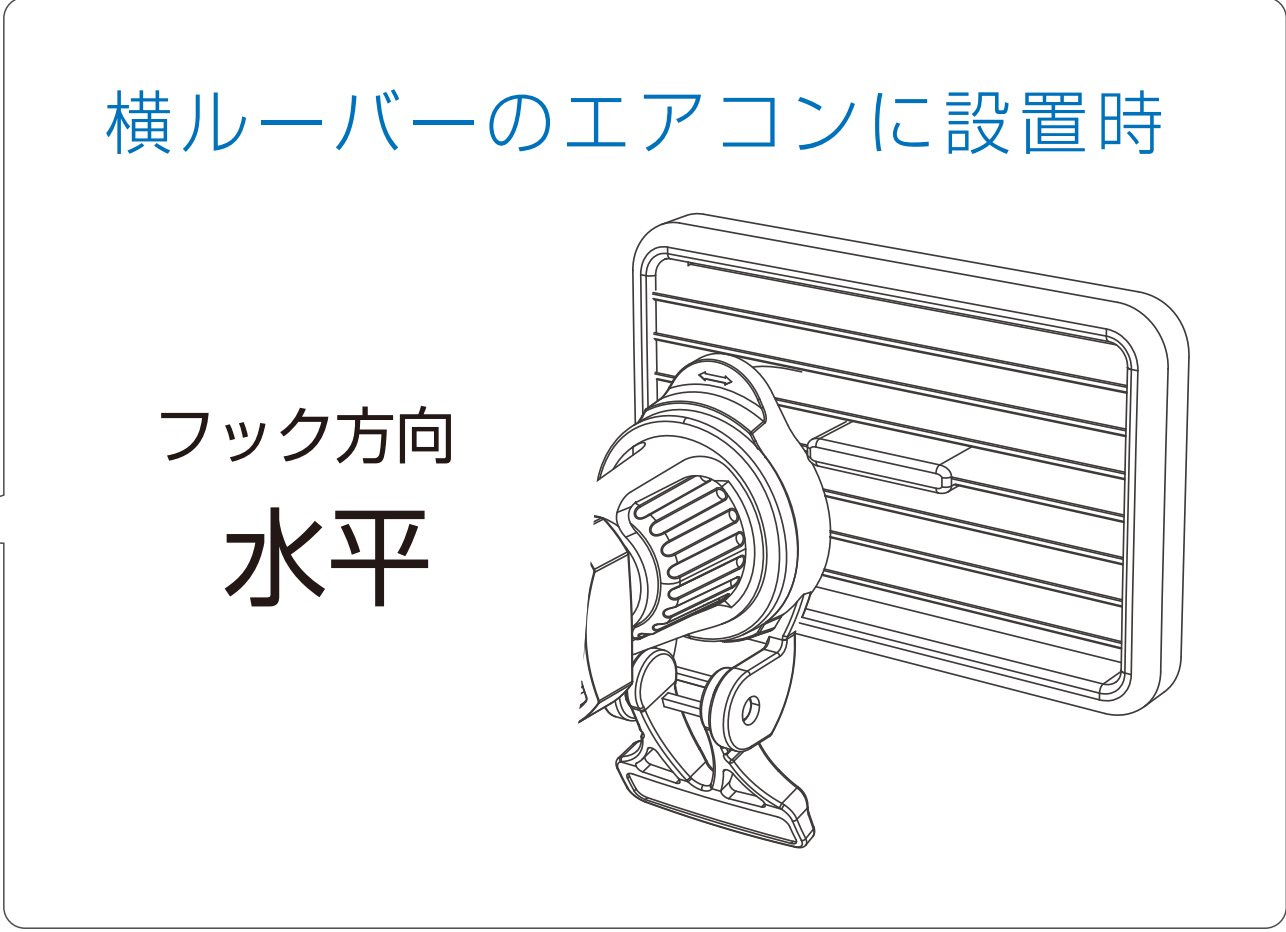


- ② 設置するエアコンに合わせ、背面のフックの方向を調整します。

傾き防止フラップを持ちながら  
ダイヤルカバー部（下記画像水色箇所）を  
回すと背部のフックが回転します

傾き防止フラップ

設置した時に下側に  
くるようフック向きを調整

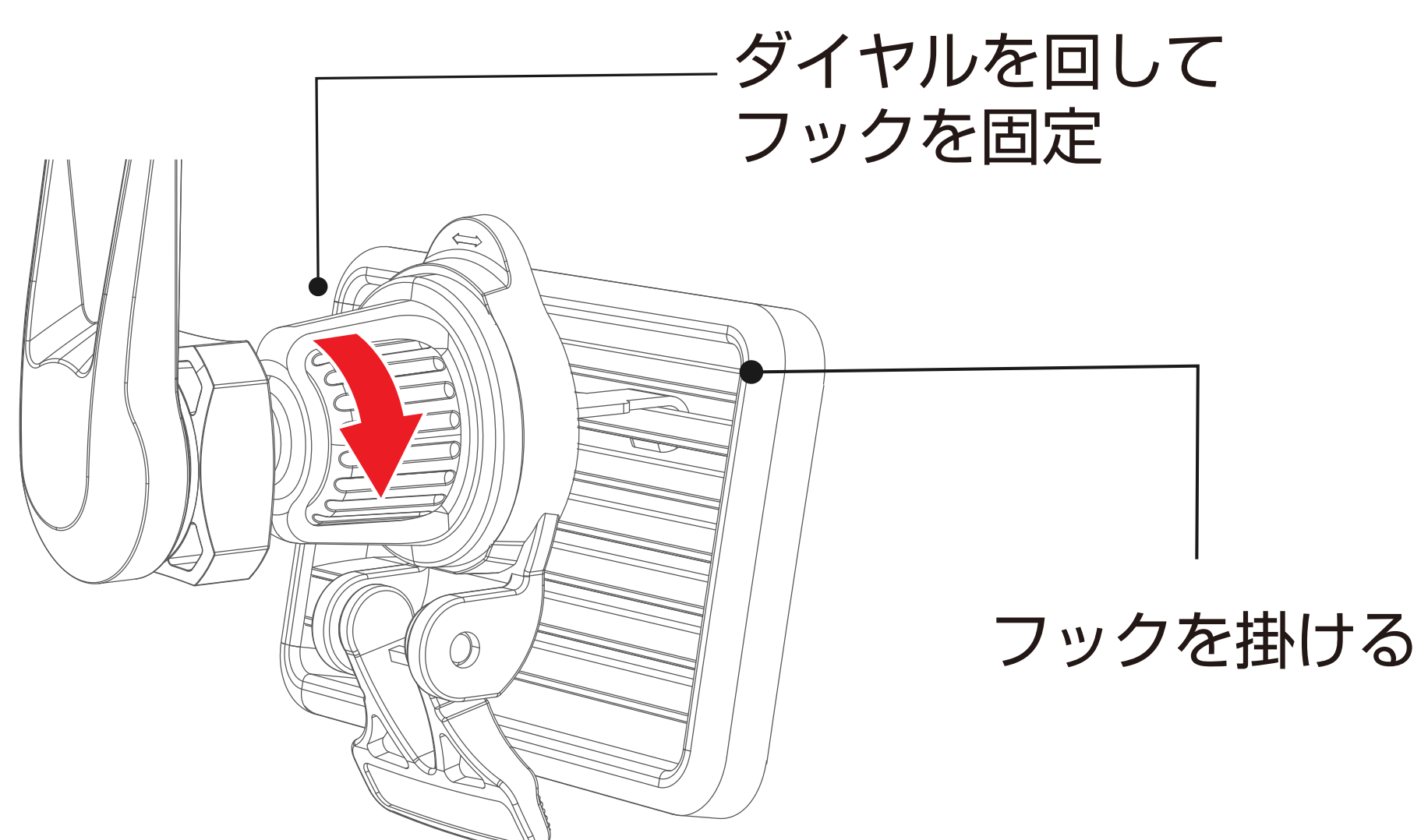


2

## 車両のエアコンルーバーへ取付けパーツを設置

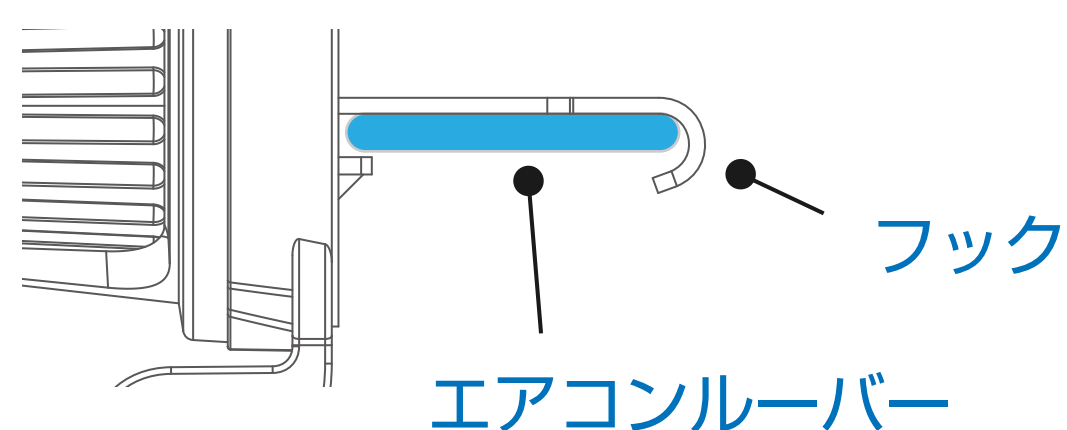
- 3 背面のフック部分をエアコンルーバーに掛けてからダイヤルを時計回りに回して、フックを固定します

※締め付け過ぎはエアコンフィン破損の原因となりますのでご注意ください

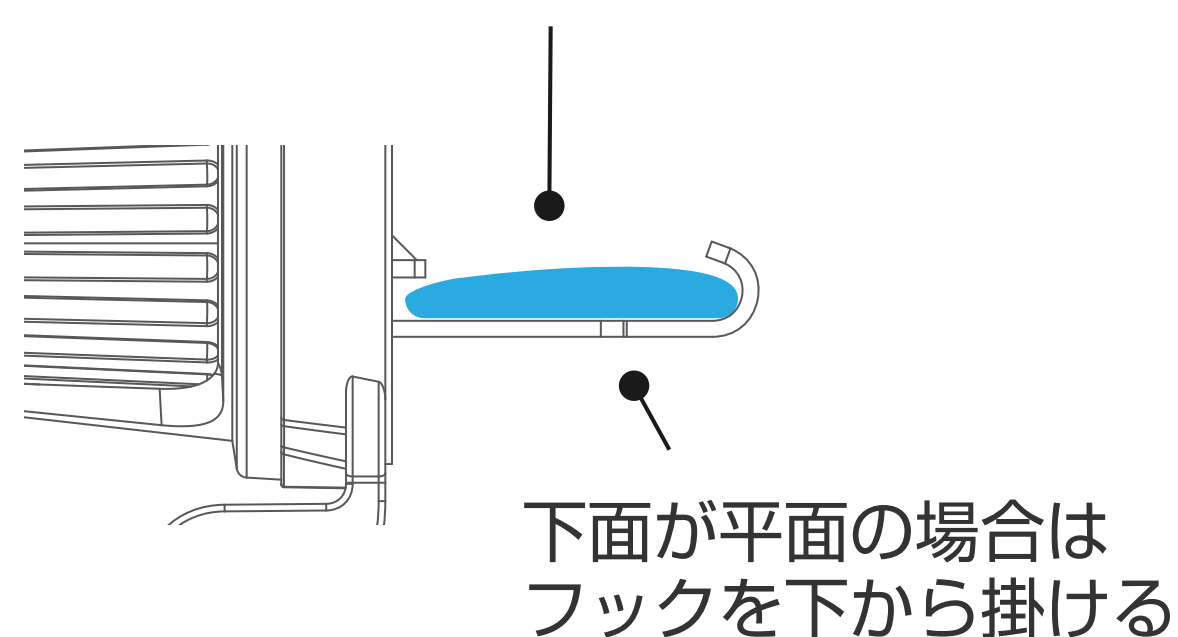


### 【フックの掛け方】

エアコンルーバーの平らな面にフックパーツが沿うように設置

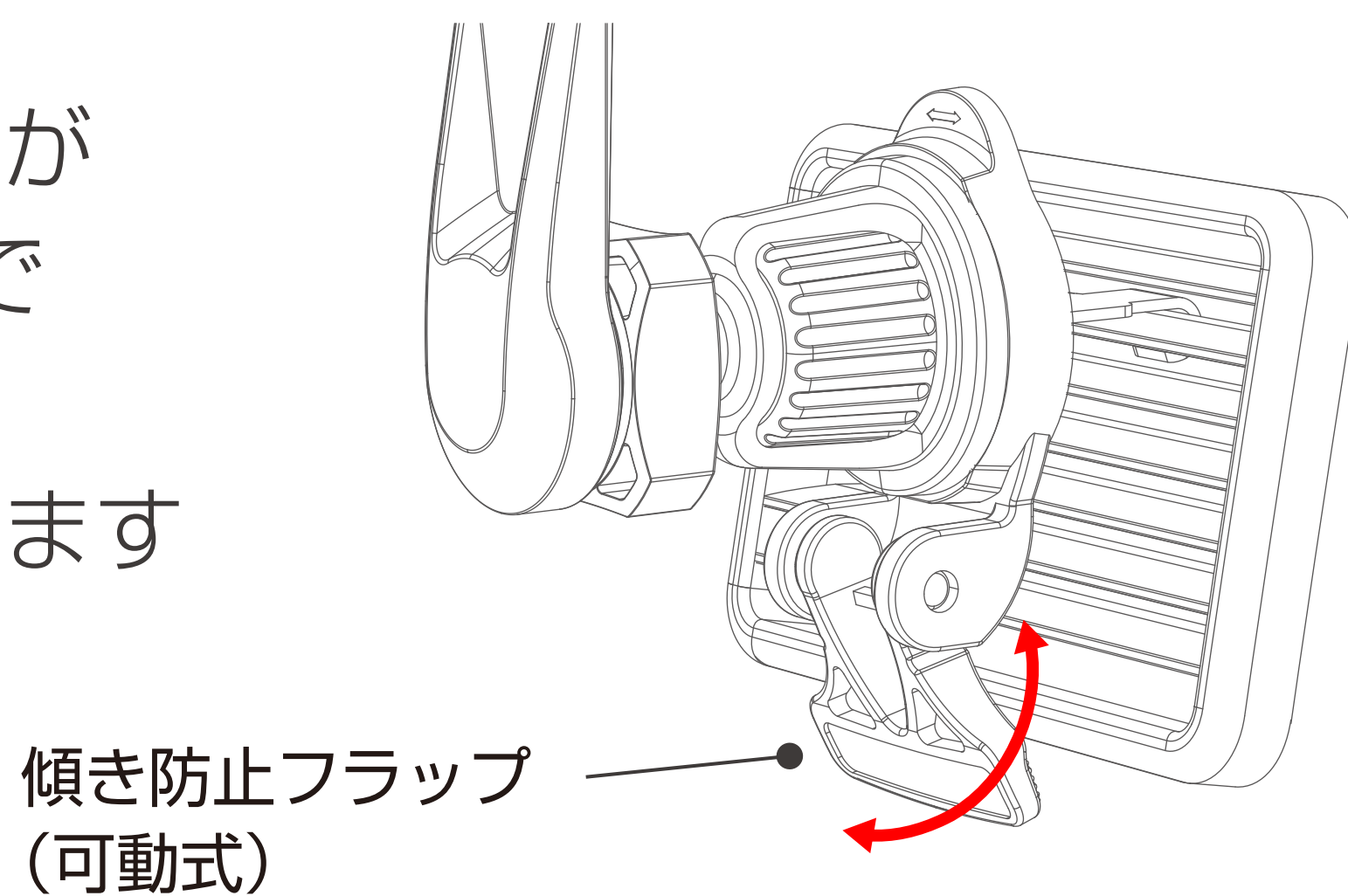


上面に丸みがあるルーバー



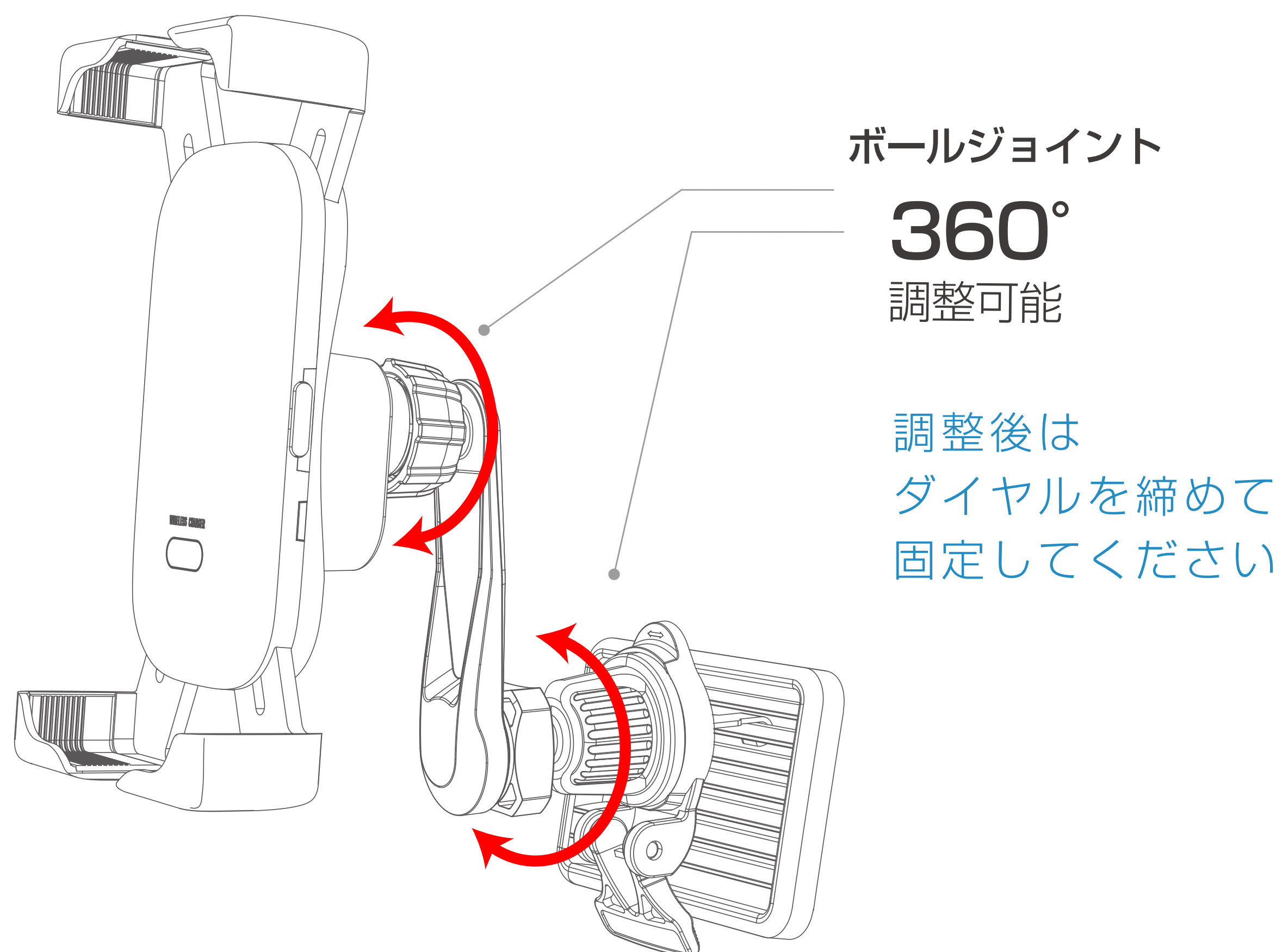
エアコンルーバーの平らな面にフックが沿うように設置してください  
(フックは上下どちらからでも使用可)

- 4 エアコンルーバーがホルダーの重みで傾かないようにフラップを調整します



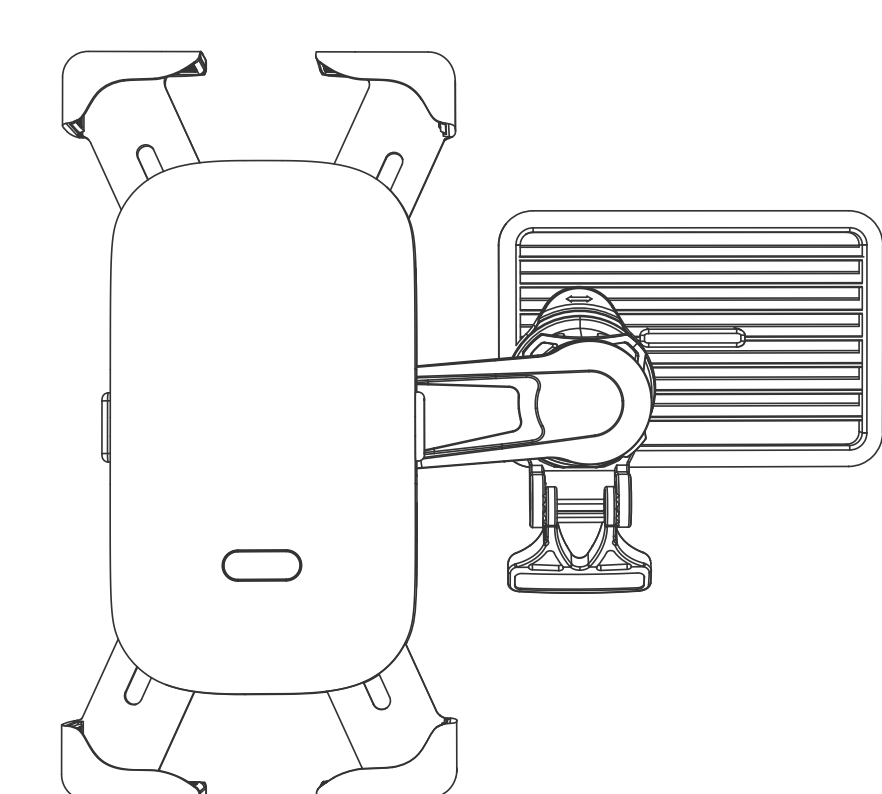


5

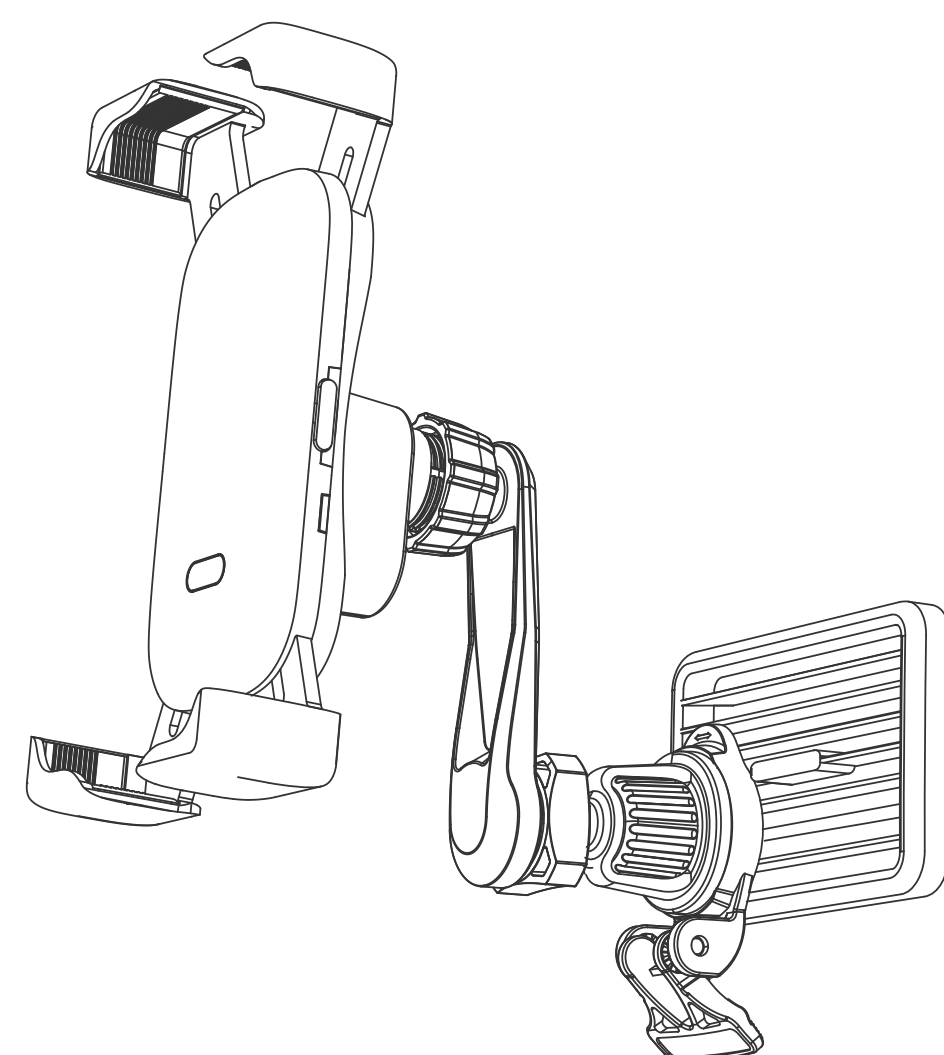


背面のボールジョイント部を調整して  
ホルダーをお好みの位置と角度に調整します

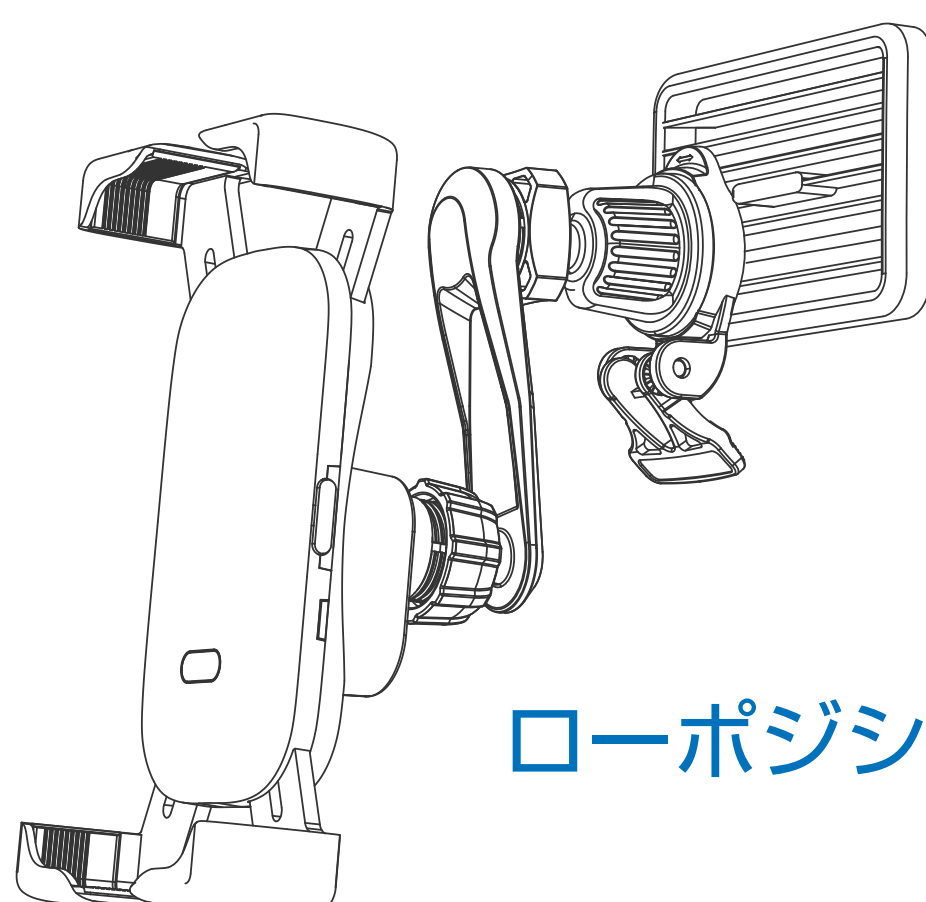
ロングアームを使用することで上下左右へ調整できます



サイド  
ポジション



ハイポジション



ローポジション

# 本製品を電源へ接続

- 1 本体背部の USB-C 給電口に付属の電源用ケーブルの USB-C 端子を接続します。



ケーブルの反対側（USB-A 端子）はお手持ちの USB 電源に接続します。

※USB 電源は付属しません

- 2 本製品が通電すると通電ランプが点灯します。

## 通電ランプ

待機時 — 赤  
充電時 — 青  
充電 OFF — 消灯  
異常時 — 赤点滅





# スマホの設置方法

1

本製品の近接センサーに  
スマホをかざすと、  
アームが自動で開きます。



2

ワイヤレス充電部が  
合うように、中央に  
スマホを当てます。



3

ワイヤレス充電を、  
検知するとアームが  
自動で閉じます。

ワイヤレス充電を検知できない場合  
アームが開いて約 3 秒後に閉まります。



## USB 電源は定格 5V2A または QuickCharge2.0 以上をご使用ください

5V2A 以下の給電ポートの場合、充電できない、または充電に時間がかかることがあります。

※本製品と充電する端末の間に、金属や液体などの異物がないことをご確認ください。

※本製品の充電機能は、Qi 充電対応端末に対応しています。Qi 非対応端末は充電できません。

※充電時間は端末や接続する電源の給電能力等、充電環境により異なります。

※本製品の自動開閉機能は Qi 充電対応端末に対応しています。Qi 非対応端末を設置した場合、自動開閉が作動しないなど、不具合が生じることがあります。

※急速充電には急速充電対応端末と QuickCharge 2.0 以上の USB 電源が必要です。

※スマホをホールドしたまま、車のエンジンを ON/OFF (本製品の通電 ON/OFF) すると、通電直後にアームが自動で開くことがあります。スマホの落下を防ぐために、エンジンを ON/OFF するとき (本製品の通電 ON/OFF) は、設置した端末を取りはずしてください。



# 横置き設置で使用する

背部のボールジョイントで本体を回転させると  
端末を横置きで設置できます。



## 横置き使用時のご注意

アーム全開時、下部(脚側)に150mmの空間ができます。  
隙間からの落下を防ぐためにスマホを持ちながら  
開閉操作をおこなってください。



※スマホの落下を防ぐために、エンジンをON/OFF(本製品の通電ON/OFF)するときは、設置した端末を取り外してください。



# 端末を取りはずす（アームの開閉）

本製品に設置した端末を取り外す時は、  
両サイドのアーム開閉ボタンを押します。



開閉ボタン（両側面）

**アーム開閉**

**1 回押し**

**端末の取り外しは、本製品の電源が  
入っている時におこなってください。**

電源供給停止後、アームの開閉は数回可能ですが、  
（目安 3 回程度）回数は環境により異なります。

※アーム開閉時は端末の落下にお気をつけください。

※電源が入っていないときに無理に手で開閉すると  
故障の原因になりますのでおやめください。

# ワイヤレス充電 ON/OFF

アーム開閉ボタンを長押し（約 3 秒）で、ワイヤレス充電機能が OFF になります。



開閉ボタン（両側面）

**充電 ON/OFF**

**長押し（約 3 秒）**

※ワイヤレス充電 OFF 時も製品の電源は ON 状態です。  
（ホルダーの自動開閉機能は ON 状態です）

**通電ランプ**

ワイヤレス充電 OFF の時は  
消灯になります



## - 使用上のご注意 -

- 走行中の本製品の調整・操作・端末(スマートフォン)の操作・通話・動画鑑賞は大変危険です。絶対におやめください。
- 運転の妨げになる場所、危険と思われる場所、安全装置(エアバッグ、シートベルトなど)の作動効果のさまたげになる場所には取付けないでください。
- 車の急発進、急停車などの振動により本製品に設置した端末が落下・破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 保護ケースを装着していない端末を本製品に設置したとき、アーム部分と擦れて端末に傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。
- スマートフォンケースが極端に厚いとワイヤレス充電ができない場合があります。
- ホールド可能なスマホサイズは、高さ 130mm～164mm、幅 80mm までです。
- 充電中はラジオやワンセグなどの受信状態が悪くなる場合があります。
- 周囲温度(使用環境温度)が 0～45℃の範囲でご使用いただき、高温や多湿になる場所(火のそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など)で使用・保管しないでください。
- ワイヤレス充電器同士を近づけないでください。端末を検出できず充電できない場合があります。
- 磁気カードや磁気記録メディア、精密機器など磁気の影響を受けるものは本製品に近づけないでください。
- 端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、端末を置かないでください。
- 本製品は電気製品です。水に濡らしたり濡れた手で使用しないでください。



- ショートの原因となりますので、本製品と充電する機器の間に金属や液体などの異物がないこと、端子の変形や、端子内に異物の混入や付着がないことをご確認ください。
- 電源用ケーブルの端子を斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加えるなど、端子への負荷をかけないでください。
- 給電は付属の電源用ケーブルをご使用ください。充電するときは結束バンドなどを外し、ケーブルを延ばした状態でご使用ください。束ねた状態でのご使用は発熱の原因となり危険です。
- お子様の手の届かないところでご使用、保管してください。
- 製品の分解や改造はしないでください。  
本製品の誤った取付け、または分解や改造してのご使用による事故・故障・破損等の損害につきましては弊社では一切その責任をおいかねます。
- 本製品を使用中、異臭・変形などの異常が起きた場合、製品の使用をただちにやめください。
- 本製品を使用中に万が一、機器の故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損などが発生した場合、弊社では一切その責任、保証はおいかねます。あらかじめバックアップをお取りになってからのご使用をおすすめします。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を装着されている方は、充電動作が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。  
本製品のご使用にあたっては医師へご相談ください。